

令和6年2月20日			
資	料	提	供
担	当	課	自然環境室
担	当	者	菅野、栗生
電	話	073-441-2779	

令和5年度（第55回）ガンカモ類生息調査結果 －カモ類の微増傾向が継続、トモエガモの渡来数増－

本調査は、日本におけるガン・カモ・ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握し、野生生物行政に必要な資料とするため、昭和44年度から毎年この時期に全国一斉調査を行っており、今回は55回目の調査となります。以下、県内の調査結果を示します。

●調査日時等

- ・主な調査日: 令和6年1月14日（日）
- ・調査員: 63名（日本野鳥の会和歌山県支部、県鳥獣保護管理員等）
- ・調査箇所: 231か所（県内の河川、池、沼、ダム、海岸等の渡来地）

●調査結果概要

- ・カモ類の個体数は昨年に続き、例年より若干増加しました。富田川では飛来数が例年よりも多かったものの、主要河川では例年と比べ大きな変化はありませんでした。椿山ダムでは、昨年同様にオシドリの大きな群れが確認されました。
- ・県内での目撃が少ない種としては、ミコアイサが平池（紀の川市貴志川町）で7羽、ホオジロガモが中池（白浜町）で1羽、アメリカヒドリが古座川河口（串本町）で1羽確認されました。
- ・環境省レッドリスト選定種では、トモエガモ（絶滅危惧Ⅱ類）が3地点で合計71羽確認されました。トモエガモは、近年全国的に渡来数が増えており、県内でもその傾向が見て取れました。

表1. 確認された種数及び個体数

	令和5年度		昨年度	
	種数(種)	個体数(羽)	種数(種)	個体数(羽)
ガン類	0	0	0	0
カモ類	17	12,451	18	12,467
ハクチョウ類	0	0	1	1
計	17	12,451	19	12,468

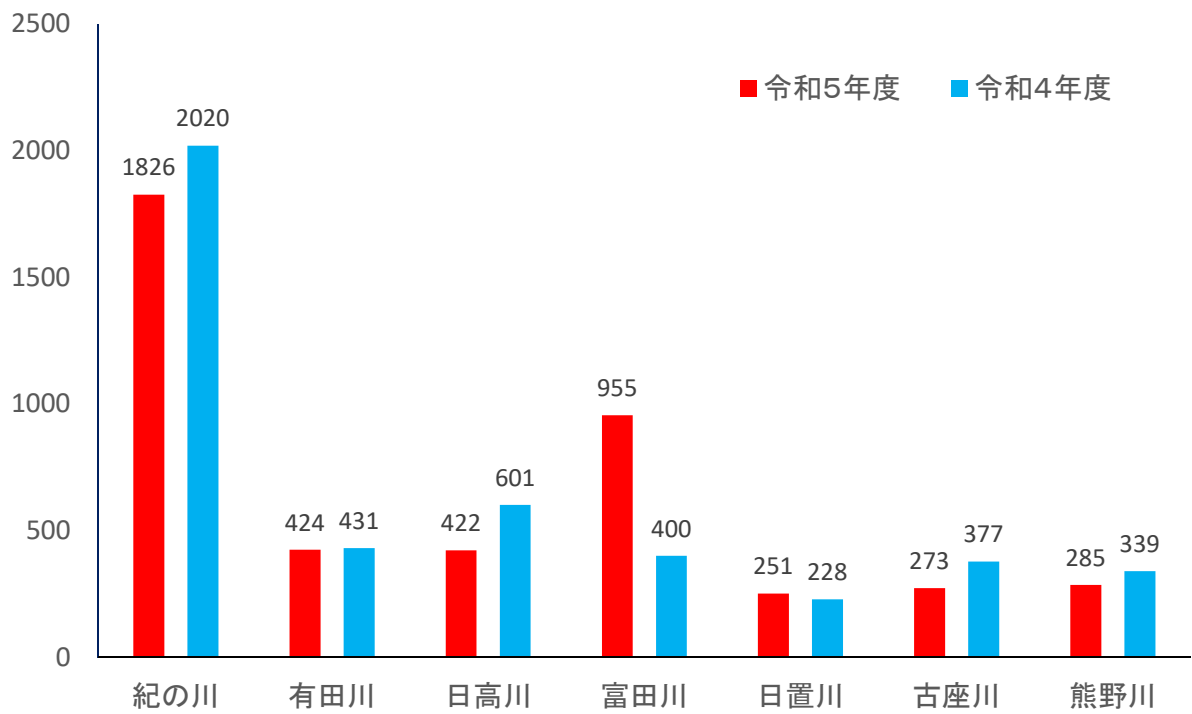


図1. 主要河川において確認された個体数

表2. 確認されたハクチョウ類、カモ類の内訳

種別	R5	R4	種別	R5	R4
オオハクチョウ	0	1	キンクロハジロ	207	166
オシドリ	1,231	1,882	スズガモ	2	1
マガモ	3,581	3,128	トモエガモ	71	14
カルガモ	2,396	2,168	ホオジロガモ	1	0
コガモ	686	787	ウミアイサ	0	2
ヨシガモ	191	89	カワアイサ	107	102
オカヨシガモ	461	364	ミコアイサ	7	10
ヒドリガモ	2,668	2,831	アメリカヒドリ	1	1
オナガガモ	22	43	アカハジロ	0	1
ハシビロガモ	168	27	種不明	111	187
ホシハジロ	540	664			